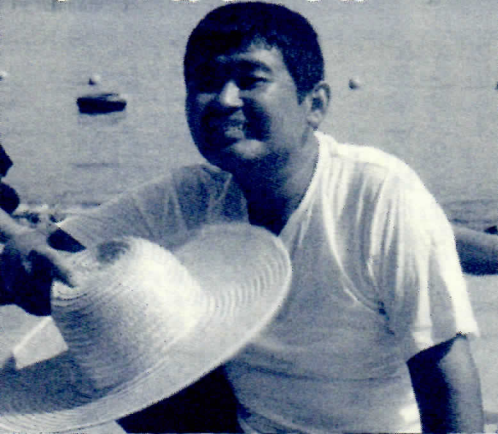




おちほ

第38号 平成12年10月29日 発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者 山下 陽一

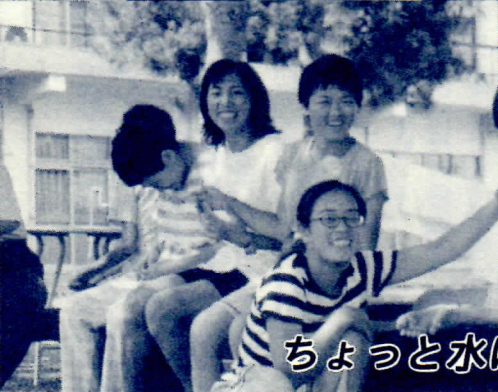
ふーっあちーなあー



いざ、ゴールめざして!



さあ一点火だーっ。



ちょっと水は苦手?

できました。
大きな事故もなく、終えることが

三日間共暑かった為か、少しバテ気味の寮生さんもありましたが、
「あ・い・う」が流れるとみんな立ち上がって踊っていました。また手品の発表もあり、寮生、職員もみごとな手品(?)に驚いていました。
二日目は朝からあいにくの雨。午前中は映画鑑賞班とドライブ班に別れてすごしました。お昼からは天気も良くなり、水上運動会で盛り上がりました。玉入れ、リレーなど、男子棟、女子棟対抗での競技ではみんなはりきっていました。夜はキャンプファイヤーをしました。琵琶湖の中から出て来た美しい女神様(男子指導員ですが...)からの火を代表の寮生さんがたいまつにもらい点火。女子職員の楽しいダンス、みんなにおなじみの「あ・い・う」が流れるとみんな立ち上がって踊っていました。また手品の発表もあり、寮生、職員もみごとな手品(?)に驚いていました。

毎年夏のお楽しみ行事、湖畔学舎に七月二十四日(月)〜二十六日(水)の二泊三日で今津荘に行ってきました。暑いぐらいの天気の中さっそく水着に着替えて泳ぎました。とても楽しそうに泳いでいる寮生さんといえば、水は少し苦手な寮生さんなど、それぞれの時間を過ごしていました。

昔々今ふ

寮生のおおらかに助けられて
職員と寮生がつくる新生活

理事長 増田正司

落穂寮創設のころ、近江学園の重度クラス「さくら組」生13名が新入寮生として新生活に入った。当時、僕は近江学園の職員で3部生（中卒後の職業指導により社会復帰をめざして奮闘中の園生）と畜産部で汗を流していた。「さくら組生」は園外歩行訓練の前

後きまって豚舎を訪問し、敷地内にむらがる豚に「今日は」とあいさつ会釈をかわし、柵に鼻を押しつける豚をなでまわし、ひとしきり豚君と楽しそうに交流するのが常だった。僕も3部生もしばらく無邪

気な交流を一緒にたのしみ、訪問により寛いだ気分を与えられた。新生活に入ってからは足が遠のいたが、週に一度ぐらいがやがやとまた喚声をあげてやってきた。思いもかけず8年後の昭和32年4月、その子どもたちと一緒に生活をおくることになった。訪問客として見ていたときと、四六時中接する立場とは随分感じ方はちがったが、相変わらぬざおおらかで天衣無縫の明るさがうれしかった。

子どもたちの生活をもっとよくしたい、他力本願だけでよいものか。落穂寮をとりまく社会の風、政治の風、福祉の風は無風にひとしい。福祉だからと甘えてもいられない、それなりの自助努力なしに創設の心を

完遂できない。

あてがい扶持に満足し、貧しさに耐えてゆくだけで未来は開かれるか。職員と寮生の運命共同体として師弟同行の営みが豊かさをふくらませると確信した。こどものおおらかに何事も受容する姿を見れば見るほどこころした使命感にかられるのだった。

子どもたちの生活をもっとよくしたい、他力本願だけでよいものか。落穂寮をとりまく社会の風、政治の風、福祉の風は無風にひとしい。福祉だからと甘えてもいられない、それなりの自助努力なしに創設の心を



▲ S32年 夏のひととき

考え方の相違から、心ならずも去っていった職員もあり、新入りの若い職員を督励し未来づくりを奮闘した日々をなつかしく思い出す。それにしても、われわれの未熟な指図におおらかに応じてくれた寮生のなんと心の広さか、その寛大さに救われ、許されたのだ。有難う。（赴任時に顧みて、2000・8・30）

昔々今ふ

ゆとりと思いやり

生活指導員 太田正則

人間が人として成長していく為に最も必要な要素とは何でしょうか、改めて言うまでもありませんが、その事について今回はお話ししたいと思います。

私達は生まれると同時に泣くという行為で自分の要求を相手に伝えます。その要求に答えてもらううちに、その人々を信頼するようになり、相手が応えてくれる事で自分の存在を認知するようになります。そこで築かれていくのが親子の信頼関係です。次第に世界が広がっていくと、更に多くの人と信頼関係を築きながら成長していく事になります。学校の先生、友達、恋人。結婚すると夫婦間の信頼関係、等々。自分をとり巻く人達から、更に自分をとり巻く人々をとり巻く人達へと広がっていき、初めて人間として成長していくのです。

さて、ではその信頼関係を築くにはどういう方法・手段があるのでしょうか。大半の方は『言葉』というコミュニケーションの道具

を用いて会話する中で、相手の考え方・性格・感情を分析して理解し、又自分を理解してもらおうとこちらから信頼関係を築いていると思えます。音声としての言葉を持たない人々は手話や筆談で、それを持たない人は身振り手振りなどで何とか自分を意志表示することで理解してもらおうとしています。では、それ以外の人はどうするのでしょうか。言葉を持たず、持つていてもコミュニケーションの道具として使うだけの能力がない。その言葉を理解する力がない。自分の感情や意志を表現する方法もわからなければその能力も乏しい。そういう人は、いったいどういう方法で自分を取り巻く人々と信頼関係を築いていくのでしょうか。それは、自分に接してくる人の態度、声のトーン、表情そしてその人の内から出てくる雰囲気から、その人の考え方、性格、感情を察知し、理解するしかないのです。言いかえれば、関わる側がその事を理解して接しなければ信頼関係

は築けないのです。それが彼等、知的障害者なのです。生活を共にして理解し難い行動が多いのは、彼らなりにあらゆる手段を用いて周囲の人々を知ろうとする。自分に対して好意的なのか、安全な人なのか、理解してくれているのか：など、様々な不安を取り除くべく、ひととおり試してみても漸く私達を知り、それに合格した人と信頼関係を築くのです。一旦築かれた関係は、余程の事が無い限り崩れる事はありませんが、中途半端な状態でつまずくと、再び一からやり直しとなります。再び長い時間をかけて同じところから出発し、こちらもかなりの負担を強いられることとなります。それだけに常日頃から、あらゆる場面で人間性を察知できる言動すべてに気を配らなければ、その信頼を勝ちとることができないのです。

最近、自己中心的な考え方で他人の命を奪う事件が毎日のように起きています。相手の立場に立った物の見方・考え方ができないのは『思いやり』がないという事ではないでしょうか。ただ、いくら相手の事を思っても、ひとりよがりのから回りという事もあります。先日もある新聞の介護サービスの記事にヘルパーが良かれと思ってしている事が利用者には迷惑としてとらえられている内容が記されていました。利用者としてはケアされる側の負い目もあって口に出せないとありましたが、それ程、相手の立場に立ったものの考え方がいかに難しいかがわかります。「そんなのはつきり言えばいいじゃないか」と言う人もいるかと思いますが、ケアされる側の気持ちを考える時、自分がお客というよりは、お世話になっているという気持ち強いのでしょうか。これは私達の職場にもあてはまり、保護者の方はおそらく、こういう気持ちなのではないでしょうか。更には利用者の方々もそう思っている事が多いかもしれません。

『思いやる心』は、毎日の生活の中で、生きる全ての物を思いやるぐらいの心がないと人間に対しても思いやる心がもてないのではないのでしょうか。目の前の花に気づき、感動し、大切にしている心がなくて、彼らの微弱な言動に気づき、心の中を思いやる事はできないと思います。

DREAMS COME TRUE.

DREAMS COME TRUE. DREAMS COME TRUE. DREAMS COME TRUE. DREAMS COME TRUE. DREAMS COME TRUE. DREAMS COME TRUE.

落穂寮が今年で五十歳を迎えました。思えば五十年前、多くの方々の夢と希望を受け、昭和二十五年、大津は瀬田の南郷で産声を上げたのです。

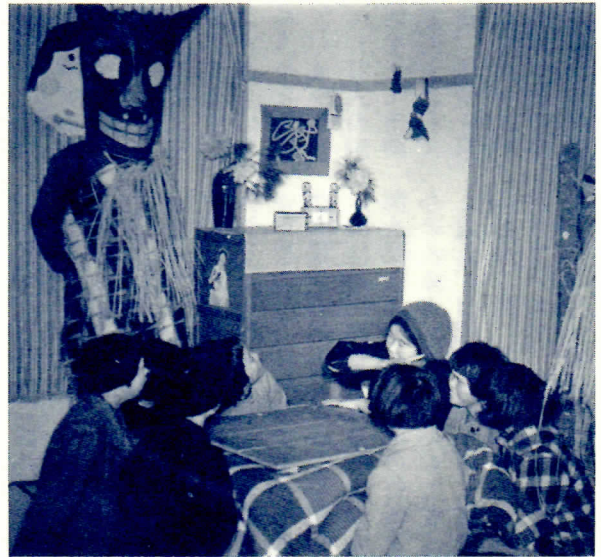
その後、順調に育っていった落穂は、途中で大変な病にかかるところがありました。本人だけでなく、周囲の人々にまで影響を及ぼす程の病でしたが、皆様の努力と誠意により危機的状況から脱出し、元気に二十歳を迎えることができました。

二十歳というともう一人前です。落穂寮も一人前になるために、一人立ちすることになりました。そ

◀ S 33 南寮



りかえる



▲ S36 節分

うです、南郷から現在のこの石部に引越すことになったのです。それまでの住み慣れた土地から、全く何もない山の中への引っ越しは、並大抵の苦労ではありませんでした。しかしそれも、それぞれが抱く夢に向っての歩みにより、一步一步少しずつ、しかし着実に軌跡を残していき、積み重ねられ、実現されていきました。

それから三十年。数多くの人が落穂寮を巣立って行きました。小供はもちろん、大人も様々な出来事を糧として社会に旅立って行き、それぞれの夢を実現しています。年をとるにつれ、生涯を共にする友もでき、

未来がさらに頼もしくなってきた。

これまで、この人生で、二度目の大病に患いました。毎日の閉鎖された生活に終りの見えな日々でしたが、今で



▲ S45 石部町に移転



▲H6 地藏盆

ていきたいと思
います。

多くの人々に支
えられてきた落穂
寮ではありますが
今後は多くの人々
を支えられるよう
になりたいと思っ
ています。

『夢への軌跡』
はこれで終ります
が、本当の夢は、
これからその跡を

▲H8 杉山寮開寮

はそれもなつかしい出来
事として思い出されます。
語り尽くせないほどい
ろんな事があって、たく
さんの笑顔に励まされ、
たくさんの涙に共に涙し
てきた五十年でした。そ
してこの度さらに多くの
人々の夢に向けて、家を
新築させていただきまし
た。



▲H6 椎の木ホーム新築

50歳をふ

残していきますので、しっかりと見ていっ
て下さい。この五十年間お世話になった
みなさま、本当にありがとうございます。ま
した。
どうぞ、これからもよろしくお願いいた
します。

追伸 お近くにお越しの際は、是非お
立ち寄り下さい。

落穂寮成人施設建設
に際しましては、左記
の方々から多大な御寄
附を頂きましたこと、
心から御礼申し上げます。

(平成十二年一月二
十日)八月十九日

(敬称略・順不同)
滋賀リコー

- 田村 久仁一
- 川内 新造
- 竹内 徳造
- 松村 信夫
- 山田 孫一
- 山田 泰男
- 山田 恭子
- 谷田 克子
- 青木 健
- 長尾 甲一
- 松田 甲子
- 中江 甲子

ありがとうございました

DREAMS COME TRUE. DREAMS COME TRUE. DREAMS COME TRUE. DREAMS COME TRUE.

いまごろ？

新人紹介

はじめまして、澤田享寿です。

名前は「たかひさ」と読みます。八月二十日という中途半端な時期から、落穂寮の男子棟で働くことになりました。なぜ二十日からかというのと、簡単に言えば帰寮日という事と私の都合が合ったからです。私の都合といえますのは、大学（立命館大学）卒業に六年もかかり、間違っているとは思いますがアルバイトの半端な就職活動をしていました。そのアルバイトが専属となり、バイトとはいえ辞めるに辞められない状況だったためです。

と、働く前からすでに迷惑をかけ、働いてからも皆さんに迷惑を掛けています。福祉の事については、紙の上でしか勉強したことが無く、しかも老人福祉や社会福祉ばかり専攻してましたので、知的な障害を持つ方への知識はほとんど無いに等しい状態です。働きだして約二週間。

混乱、無我夢中、右往左往、四苦八苦、等々の熟語が並ぶ毎日です。当面の目標はみんなと仲良くなることです。

最後に、自己紹介ということなので簡単に書いておきます。趣味は多趣味で、興味のあることには何でもチャレンジしています。強いて言えば、料理とバイクです。好きな料理はお菓子類とカレー。主に洋食が好きです。バイクは、乗るのもいじるのも大好きです。と、まあ書くスペースがここまでのので、後は見て、触って、実感して下さい。

◀ S・S 体育大会にて



わんこそば状態？

8月4日、土山の田村川まで飯盒炊きに出かけました。当日は今年の暑い夏を象徴するように、朝から刺すような日差し。それでも寮生さん職員合わせて総勢38名で元気に出発。マイクロボスとキャラバンに分れて、約一時間ぐらいで到着しました。川原まで降りると、みんな協力して荷物を運び出し、それが終わると、泳げる寮生さんは水着に着替えて次々と川の中へ。職員もあわててそれに付いて行く有様でした。浅い所で水をかけ合う寮生さん、足の着かないような深い場所まで泳いで行ってしまう寮生さんなど、職員もいっしょになって水遊びを楽しみました。お昼になったので、みんな水から上がって昼食タイム。メニューは焼肉とおにぎり、焼肉は焼き上がったものから、どんどんと寮生さんの胃の中に収まっていきまして、みんな次々とおかわりして、まるで岩手のわんこそばのような状態。たくさんあったはずのおにぎりも残らず平げてしまいました。食事が終わると、またみんな川に入り水遊び。デザート

のすいかを食べて、記念

撮影をしました。三時前には片付け始め、バスに乗って一路落穂寮へ。途中、おやつとジュースを買って、これもみんなおいしそうに平げていました。遊び疲れたのか、ウトウトする寮生さんもいる中、四時頃には到着しました。寮生さん達の楽しい夏の思い出になったと思います。また来年も行けるといいですね。

◀ 川遊びで楽しむ寮生さん



真夏のカレーライス

寮行事である湖畔学舎が終わると、女子棟では毎年恒例の飯盒炊さんが待っています。今年も去る八月六日、落穂寮グラウンドにて行いました。ただし、今年は昨年までと違い、親子飯盒炊さんです。当日は、天気にも恵まれ、というよりも猛暑で、テントの陰か木陰に居なければ耐えられないような暑さ。思い出したように時折吹く風がせめてもの救いでした。そんな中、多くの親御さんに来ていただき、テントを

▲カレーをほおぼる奈々さん。



立てたり、火をおこしたり、大なべで調理したりと、力を合せてカレーライスを作りました。寮生さんは、というところ、調理やお皿を運ぶお手伝いをする人もいれば、久々に顔を合わせ親御さんに甘える人もおり、また食べるのを待ち切れずに泣いている人もいました。飯盒でご飯が炊き上がり、大なべからカレーのいい匂いが漂う頃、ござやベンチに皆が集まり、それぞれにカレーライスをいただきました。そしてデザートのかき氷も売っていました。暑い中、甘いものが大好評で、大きな二つのすいかはあっという間に売り切れてしまいました。

いつもとは違う人たちと食べるごはんは、いつもと同じ材料で作っていても格別な味だったに違いありません。五人近い大人数での親子飯盒炊さんは、寮生さんやその親御さん、そして実習生さんのご協力のもと、無事終了することができました。お忙しい中、ご参加いただき、本当にありがとうございました。

女子棟

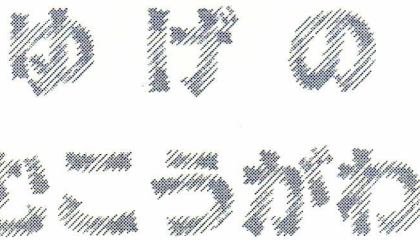
すいじ

失わないで！ ひとつのころ

年寄りのくり言ですが、ママ、聞いてください。

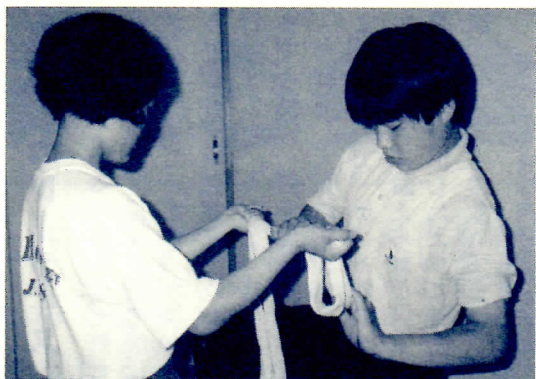
おながが一杯だと誰でも幸せな気分になれます。私もそうです。でも、それだけで良いのでしょうか。我国では飽食の時代が言われて久しいのですが、世界にはまだまだ飢餓状態の続く地方も多々あります。日本も食物の自給率を見ていくと、飽食だと言っていて良いのだろうかと考えざるを得ません。足が地についていないからです。

祭り、庖丁始めなど収獲物や捕った魚などに感謝と敬意の念をもって接してきました。自然の原理だ、食物連鎖だと言ってしまうと、食物連鎖だと言ってしまうと、生命をもらって我々の食糧としているのを忘れてはいけないと思います。だから、何物も無駄にしないように食べるのが、生命に対する礼儀です。



今、人々に「もったいない」といってもなかなか通じなくなり、死語となってきたのを感じます。まだ十分使えるものが捨てられ、食べ物が手付かずのまま残飯にされるのが日常茶飯事となっています。でも、ちょっと待ってください。昔の人は「お米は八十八の手間かけて、一年がかりで育てたもの、一粒たりとも粗末にはいけない」と言ってきました。各地に残る秋

形のある物を壊すのも、もったいないことです。丁寧に扱えば長持ちするの乱暴にして寿命を縮めていけないでしょう。自閉的にこだわって壊している寮生さんを容認することは大切なことかも知れませんが、職員が同調してはいけません。してはいけない事は悪いことを認識して指導していきたいものです。創立五十年目、初心に帰って一度生活を見直し、「もったいない」の心を大切にしてください。



▲竹班の高田さんと機能訓練中の石部中生徒さん

「あれあい活動を終えて、川谷 雅至
今日、私は落穂寮という施設に行きました。
そこには、ハンダー、キーボード、いろいろな障害
をもっている人がいました。その中でも一番多
か、たのが「言葉がは、きり」といふ人だとい
入です。私は初めてその人たちを見てこい
と思、てしまいました。でも時間が経つにつ
れて、ぼつろせ、しま、いけるようになが、し
し。

石部交流会

今年も六
月二十三日
に、石部中
学校の生徒
さんとの交
流会が行な
われました。
あいにくの
空模様で外
での活動はできませんでしたが、それぞれ四班
に別れて、歩行・風呂掃除・機能訓練に参加し
て頂きました。ここに、感想文と共に紹介しまし
ます。石部中の皆さん、ありがとうございます。

その後、その人たちに、しよ、にボールの
けり合いました。私は、足が不自由な
けり合、の、と思、つ、ボールを、た、
け、し、君がうまくボールを、て、い、ま、し、
あ、の、ボールのけり合、は、他の、ボールのけり、方、
い、し、よ、の、レベル、は、と、思、い、ま、し、た、。本、
当、に、ま、か、た、で、す、。そして、車いすの上、の、こ
れ、験、し、ま、し、た、。私も、何、回、か、の、上、事、が、あ、る
ので、お、ま、て、い、る、け、り、や、、お、り、ま、か、し、か、た、
し、た、。



▲梅班の中村さんと歩行訓練中の石部中生徒さん

けり合、い、ま、し、た、け、り、合、ま、た、け、り、ま、し、た、

泉

▽落穂寮は五十歳になりました。
人で言う、円熟味をまじえて、人
生の甘さも苦さも楽しさも辛さも
ひととおりの体験し、それを糧にこ
れからの人生を生きていく年代で
す。しかしそれは、今までどう生
きてきたかに、大きく左右されて
くるものです。今までのつけがま
わってくるとも言、ま、し、よ、う、か、
生き方の是非が結果として現われ
てくる年代でもあるかと思うので
す。
その意味で、この先の十年は、
とても責任重大な十年だと思いま
す。
毎年のように若返る「オチホ」で
すが、五十年の「歩」は、忘れずに
いたいと思います。

木 こと 言葉

野放図なのは自らのせい？
管理責任を問われることが多い
多い昨今。
責め合うのではなく、戒め
合う自覚が必要なのは。
まずは、自らを問うてみて
は。